

本年で10年迎える

日本溶剤リサイクル工業会



日本溶剤リサイクル工業会（川瀬泰淳会長）は第9回定期総会を、5月27日午後1時半から東京都千代田区大手町の大手町ファーストスクエアで開催した。

総会に先立ち川瀬会長はあいさつⅡ写真で、「本年でリサイクル工業会も10年を迎えることができました。これもひとえに、本日で列席の皆さんのおかげと

感謝しております」と話し、これまでの協力を謝辞を述べた。

引き続き、川瀬会長を議長に提案された議案の審議の移り、平成14年度事業報告、決算報告及び会計監査報告の第1号議案、15年度事業計画及び収支予算の第2号議案が議事に諮られ、いずれも原案通り了承された。

15年度の事業計画は、各種会議として総会、理事会、調査研究分科会を定期的に開催。調査研究事項では、国内における溶剤リサイクルの実態調査、関連する法

規制・制度の研究と対応、業界市場拡大のための研究と対策など行う。広報活動では工業会のホームページを充実すると共に、事業活動の紹介に努める。また、会員の技術レベルアップの機会となる一方、情報収集・情報交換の場となっている見学講演会では、従来の事業を更に強化推進する。このほか、関係機関団体との協力・協調、工業会の目的達成に必要な事業を進めることを予定している。

なお総会終了後に行っている恒例の講演会は、アダビ石油相談役の市川日出男氏が「最近の石油事情」の演題で講演。続いて開かれた懇親会では、経済産業省製造産業局化学課の小野寺修課長補佐、クリーンジャパンセンターの三村清理事長も駆けつけにきわった。